



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

# 進級おめでとうございます！

修了証書は、皆さんが「この1年間よく頑張って、それぞれの学年の勉強や生活を修了することができました」ということを証明する印です。4月からは1年生は2年生に、2年生は3年生にと1学年ずつ進級することになります。おめでとうございます。



校長先生は11回の全校集会で、みなさんにいろいろなこととお話してきました。

4月、星野富弘さんと豊田智子さんの「はじめの一步」。

5月、本田美奈子さんと辻友紀子さんの「ありがとう」。

6月、「自分の心を鏡に写すよ」。7月、東日本大震災から「いのち・生きる」。9月、「天国からの年賀状」。

10月、「感謝」。11月、アンパンマンから「正義」。12月、人権週間から「生きる」。1月、絵本から「いのちを いただく」。2月、やまつりっ子宣言「おっきいあゆ」。3月、「相田みつをにチャレンジ」。ひとつでも心の中に残っていたらうれしいです。



最後のお話です。今日は、「たんぽぽ」のお話をします。まもなく春が訪れ、たんぽぽの花が見られるようになると思います。黄色くて、かわいい花ですね。

たんぽぽは、冬の寒い間、地面にびたっとはりついて、冷たい北風や冬の寒さを避けていました。じっと耐えています。そして、春になり、暖かくなると、少しずつ葉や茎を伸ばしていきます。

あの小さなたんぽぽの根はどうなっているか知っていますか。実はあのたんぽぽの根っこは50cm近く、長いものになると1mにもなるそうです。地面の上に出ている部分よりも、地下の根っこの方が何倍も長いのです。その長い根っこが、たんぽぽの体を支えているのです。ですから、たんぽぽはとても強い植物です。雨が少なくても、生きていけます。冬の寒さにも耐えることができます。きれいな花を咲かせるには、それを支える根っこがとても大切なのです。



学校は、皆さんを支える根っこをつくる場所です。どんなことにも耐えることができるたんぽぽの根っこをつくるよう、4月からがんばっていきましょう。「夢はでっかく 根は深く」

さて、明日からの春休み、4月の始業式で話した、3つの「あ」を思い出して生活してください。

1つ目の「あ」は、安全の「あ」でした。この1年を通して、交通教室や地震訓練、着衣泳などを実施し「自分の命は自分で守る」ことの大切さを学んだと思います。かけがえのない大切な命、安全に生活してください。

2つ目の「あ」は、あいさつの「あ」です。挨拶には、「おはよう、こんにちは、こんばんは、いただきます、ありがとう、おやすみ、ごめん、すみません」などいろいろあります。どの挨拶も、相手の目を見て大きな声で言える子に育ちました。挨拶がしっかりとできる人は、いつでも、どこへ行っても信頼される人になります。「挨拶日本一」の学校を目指して家庭でも挨拶を頑張りましょう。

3つ目の「あ」は、遊びの「あ」です。思いきり気持ちのよい汗を流して、朝や業間、昼休みと1年生から6年生まで兄弟のように元気よく遊んでいる姿を見るのが校長先生は楽しみでした。「子どもは風の子」。4月から暖かくなります。大いに遊んでください。遊びの中から学ぶことはたくさんあります。



明日からの春休み、一日一日を大切に過ごして下さい。